

<担当理事用>

国立大学法人の
財務・経営の実態に関する
全国調査
(Ⅱ. 財務)

2006年1月

国立大学財務・経営センター研究部

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査は、財務担当の理事の方を対象としたものです。理事の責任のもとにご回答ください。
2. 選択式の質問については、複数回答・単一回答の指示に注意してご回答ください。
3. 回答は、調査票に直接記入していただくか、または同封の回答用フロッピーディスク内のファイルに直接入力してください。
4. 記入の済んだ調査票もしくは回答用フロッピーディスクは、同封の返信用封筒に入れて、他の3つの調査票といっしょに2月6日までにご返送ください。
5. 本調査に関する問合せ先は、下記の通りです。不明な点がございましたら、どうぞご遠慮なくお尋ねください。

国立大学財務・経営センター 研究部 教授 丸山文裕

電話：03-4212-6204 または 6200 FAX：03-4212-6250 Eメール：maruyama@zam.go.jp

以下附属病院に関する事項を除いて、お答えください。

1 資金の獲得

問1 外部資金

(1) 下記の **a～j** に示した自己収入や外部資金等の中で、**現在**貴大学が全学的に重視しているもの**3つ**に○をつけてください。

	現在	今後
a. 科学研究費補助金（文部科学省・日本学術振興会）	94.0	34.5
b. 共同研究	33.3	4.8
c. 受託研究	23.8	7.1
d. 寄附金	26.2	19.0
e. 21世紀COE（卓越した研究拠点）プログラム	35.7	4.8
f. 各種GPプログラム	59.5	23.8
g. 地域貢献特別支援事業費	7.1	0.0
h. 他省庁科研費（厚生労働省等）	6.0	0.0
i. その他（ ）	8.3	6.0
j. 特に重視しているものはない	0.0	0.0

(2) 上記 **a～i** のうち、貴大学が経営戦略上、**今後**特に重視したいと思うものを**1つ**選び、下の欄内に記号を記入してください。

(1)を参照

問2 特別教育研究経費・新規組織整備

(1) 法人化後の概算要求についていかがいます。特別教育研究経費・新規組織整備の獲得に向けて、全学レベルで特別な取組をしていますか（例：特別教育研究経費・新規組織整備の獲得に向けた委員会等の設置や、学内での重点配分による実績づくりなど）。

	している	していない
a. 特別教育研究経費.....	78.6	21.4
b. 新規組織整備.....	69.9	30.1

(2) **a, b**それぞれについて、**1**と回答した大学にいかがいます。特別な取組とはどのようなものですか。

a.特別教育研究経費について	
b.新規組織整備について	

(3) 特別教育研究経費・新規組織整備の予算要求にあたって、優先順位を決める際に、下記の点をどの程度重視していますか。下記の **a～k**それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	重視した	やや重視した	どちらともいえない	あまり重視しなかった	重視しなかった	最も重視
a. 高等教育・学術政策の一般的動向.....	63.1	34.5	1.2	1.2	0.0	9.8
b. 学生・親からのニーズ.....	10.8	37.3	39.8	9.6	2.4	0.0
c. 企業等からのニーズ.....	11.0	43.9	32.9	8.5	3.7	2.4
d. 地域からのニーズ.....	41.5	40.2	11.0	7.3	0.0	0.0
e. 他大学の動向.....	0.0	17.1	50.0	22.0	11.0	0.0
f. 他大学の予算獲得の実績.....	0.0	21.3	43.8	23.8	11.3	0.0
g. 中期目標・計画等との整合性.....	83.3	13.1	3.6	0.0	0.0	23.2
h. 大学にとっての要求事項の重要性.....	91.7	8.3	0.0	0.0	0.0	61.0
i. 部局間のバランスへの配慮.....	1.2	16.0	44.4	21.0	17.3	0.0
j. 文部科学省との事前協議の結果.....	43.4	43.4	13.3	0.0	0.0	2.4
k. その他（ ）.....	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(4) 上記 a～k のうち、最も重視しているものを **1つ** 選び、下の欄内に記号を記入してください。

(3)を参照

(5) 概算要求時代と比べて、法人化後、貴大学での新規予算（特別教育研究経費・新規組織整備）の獲得は総じて容易になったとお考えですか。

	容易に なった	どちらとも いえない	困難に なった
a. 特別教育研究経費.....	7.1	64.3	28.6
b. 新規組織整備.....	15.5	61.9	22.6

問3 COE・GPの獲得

COE や GP などの競争的資金の獲得についてうかがいます。これらの獲得に向けて、全学レベルで特別な取組をしていますか（例：COE・GPの獲得に向けた委員会等の設置や、学内での重点配分による実績づくりなど）。

1. している 88.1 2. していない 11.9

1 と回答した大学にうかがいます。その特別な取組とはどのようなものですか。

問4 科学研究費補助金

(1) 文部科学省・日本学術振興会の科研費獲得に関して、貴大学が現在、全学的に実施している取組について、あてはまる記号**すべてに○**をつけてください。

(2) 上記 a～m のうち、申請件数、採択件数、獲得総額それぞれの増加に効果をあげていると思われるものの記号を、**すべて**あげてください。また、このうち最も効果が高いと思われるものの記号を、**1つ**だけあげてください（なお有効な取組がないと考える場合は「×」と答えてください）。

	(1)現在の取組		(2)申請件数		(2)採択件数		(3)獲得総額	
	全て	1つ	全て	1つ	全て	1つ	全て	1つ
a. 募集についての案内をホームページに掲載	79.8	48.2	0.0	13.6	0.0	16.0	0.0	
b. 募集についての案内をメール等で全教員に通知	85.7	62.7	9.8	14.8	0.0	17.3	0.0	
c. 事務局（研究協力課等）で募集内容を検討し、関係のある教員へ通知	25.0	9.6	0.0	4.9	0.0	4.9	1.3	
d. 科研費関係者（文部科学省等）による説明会の開催	69.0	50.6	4.9	34.6	5.0	25.9	1.3	
e. 学内の科研費審査委員経験者による説明会の開催	59.5	44.6	3.7	45.7	12.5	34.6	8.9	
f. 学内の科研費採択実績を持つ教員による説明会の開催	64.3	48.2	7.3	49.4	26.3	42.0	15.2	
g. 学長・部局長等による申請書の内容チェックと指導	22.6	6.0	0.0	19.8	11.3	17.3	10.1	
h. 事務局（研究協力課等）による申請書の不備等のチェック	94.0	25.3	0.0	63.0	10.0	45.7	7.6	
i. 学長・部局長等による教員に対する科研費申請の要請	91.7	79.5	52.4	30.9	10.0	34.6	16.5	
j. 学長・部局長等による科研費非申請者に対するヒアリングの実施（非申請理由の聴取等）	11.9	8.4	1.2	1.2	0.0	2.5	0.0	
k. インセンティブ制度（科研費申請者に研究費等の上乗せなど）の導入	41.7	28.9	7.3	14.8	2.5	17.3	6.3	
l. 各教員の科研費獲得状況についてのデータベースの作成と公開	29.8	12.0	0.0	6.2	0.0	8.6	0.0	
m. その他（ ） 有効な取組はない	19.0	10.8	4.9	11.1	2.5	8.6	0.0	
			8.5		20.0		32.9	

問5 受託・共同研究、寄付金、知財関連収入

(1) 受託研究・共同研究等の外部資金についてうかがいます。法人化後新たに、これらの獲得に向けて、全学レベルで特別な取組をしていますか（例：受託研究の獲得者に追加の研究費配分を行うなど）。**a～c**それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	している	していない
a. 受託研究・共同研究.....	75.9-----	24.1
b. 寄付金.....	51.2-----	48.8
c. 知財関連収入.....	72.3-----	27.7

(2) **a～c**それぞれについて、**1**と回答した大学にうかがいます。その特別な取組とはどのようなものですか。

a.受託研究・共同研究 について	
b.寄付金 について	
c.知財関連 について	

問6 学生納付金

(1) 学生納付金についてうかがいます。法人化後、その増収をはかるために、全学レベルで特別な取組をしていますか。**a, b**それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	している	していない
a. 授業料・入学金収入.....	46.4-----	53.6
b. 受験料収入.....	56.0-----	44.0

(2) **a, b**それぞれについて、**1**と回答した大学にうかがいます。その特別な取組とはどのようなものですか（退学・休学・未納を防ぐ全学的な方策等も含む）。

a.授業料・入学金収入 について	
b.受験料収入 について	

(3) 授業料についてうかがいます。貴大学では標準授業料以外の額を設定していますか。**a, b**それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	設定して いない	設定する 予定	設定して いる	設定したが 変更を予定
a. 学部.....	97.5-----	0.0-----	1.2-----	1.2
b. 大学院.....	89.3-----	0.0-----	9.5-----	1.2

問7 授業料減免・大学独自奨学金

(1) 貴大学では、法人化後に授業料の減免に関する方針を変更しましたか。

1. 変更した 31.3 2. 変更を予定している 10.8 3. 従来通り 57.8

1もしくは2と回答した大学にうかがいます。学部・大学院それぞれの授業料減免の方針変更に関して、a～dそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	学部について			大学院について		
a. 減免の基準	学力を重視 17.6	経済状況を重視 44.1	同程度に重視 38.2	学力を重視 20.0	経済状況を重視 48.6	同程度に重視 31.4
b. 減免の総額	増やす方針 32.4	従来通り 64.7	減らす方針 2.9	増やす方針 34.3	従来通り 62.9	減らす方針 2.9
c. 一人当たり減免額	2.9	70.6	26.5	2.9	65.7	31.4
d. 減免の人数	58.8	35.3	5.9	62.9	34.3	2.9

(2) 貴大学には、大学による独自の奨学金制度（大学が確保した資金や、独自に設立した基金による奨学金制度）がありますか。

1. 法人化以前からある 17.5 2. 法人化後に新設 15.0 3. 新設を予定 37.5 4. 新設する予定はない 30.0

1～3と回答した大学にうかがいます。大学独自奨学金の今後の方針に関して、a～dそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	学部について			大学院について		
a. 給付の基準	学力を重視 53.5	経済状況を重視 25.6	同程度に重視 20.9	学力を重視 55.6	経済状況を重視 15.6	同程度に重視 28.9
b. 給付の総額	増やす方針 30.0	従来通り 70.0	減らす方針 0.0	増やす方針 30.3	従来通り 69.7	減らす方針 0.0
c. 一人当たり給付額	16.1	80.6	3.2	21.2	78.8	0.0
d. 給付の人数	36.7	63.3	0.0	36.4	60.6	3.0

(3) 授業料免除や大学独自奨学金について、特に感じている点がありましたら、自由にお答えください。

問8 その他の自己収入

その他、貴大学が上記以外の自己収入をあげるために行っている独自の取組がありましたら、具体的にお答えください。

2 資金の配分

問9 予算編成

(1) 貴大学では、各部局への予算額の内示をいつ行いましたか。平成17年度予算についてお答えください。

1月 3.6 2月 10.7 3月 40.5 4月 27.4 5月 8.3 6月 6.0 7月 1.2 12月 2.4

(2) 貴大学では、**現在**学内予算の編成にあたってどのような方針をとっていますか。

1. 基本的に前年度経費の額をベースに決定する 58.5
 2. 前年度経費の一部についてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 37.8
 3. 前年度経費のすべてについてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 3.7

(3) 貴大学では、**今後**学内予算の編成にあたってどのような方針をとりたいと考えていますか。

- 1. 基本的に前年度経費の額をベースに決定する 27.7
- 2. 前年度経費の一部についてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 60.2
- 3. 前年度経費のすべてについてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 12.0

(4) 貴大学では、学内の予算編成にあたって各部局等に予算要求案の提出を求めていますか。

- 1. 予算要求案の提出を求めている 32.1
- 2. 一部の経費について予算要求案の提出を求めている 53.6
- 3. 予算要求案の提出は求めているない 14.3

(5) 現在の学内予算編成に、下記の役職・組織はどの程度関与していますか。a～kそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

(6) 上記a～kのうち、最終的な予算の決定に大きな影響力を与えていると思う役職・組織を、その影響力の大きさの順に**3つ**選び、下の欄内に記号を記入してください。

	大きく関与 している	ある程度関与 している	あまり関与 していない	ほとんど関与 していない	該当 なし	最終決定に影響		
						1番目	2番目	3番目
a. 学長	95.2	4.8	0.0	0.0	0.0	69.0	11.9	6.0
b. 理事	89.3	9.5	1.2	0.0	0.0	4.8	34.5	20.5
c. 役員会	79.5	19.3	1.2	0.0	0.0	20.2	28.6	24.1
d. 役員会の機能を充実・強化 した組織（拡大役員会等）	24.1	19.3	6.0	2.4	48.2	1.2	2.4	6.0
e. 経営協議会	54.2	41.0	3.6	1.2	0.0	0.0	13.1	14.5
f. 教育研究評議会	8.3	34.5	34.5	21.4	1.2	0.0	0.0	1.2
g. 部局長会議	10.0	22.5	20.0	13.8	33.8	0.0	0.0	3.6
h. 部局教授会	1.2	12.0	27.7	44.6	14.5	0.0	1.2	0.0
i. 全学委員会（予算委員会・ 財務委員会など）	37.3	18.1	3.6	4.8	36.1	4.8	4.8	12.0
j. 学長補佐	8.4	20.5	16.9	19.3	34.9	0.0	0.0	1.2
k. 事務局長	56.0	20.2	3.6	3.6	16.7	0.0	3.6	8.4
l. その他								2.4

(7) 貴大学では、予算配分にあたって、**現在**または**今後**、下記の経費（外部資金を除く運営費交付金対象分）のいずれをより重視していますか。

現在				今後					
A	Aを より重視	どちらとも いえない	Bを より重視	B	A	Aを より重視	どちらとも いえない	Bを より重視	B
本部経費	12.0	72.3	15.7	部局経費	本部経費	13.4	69.5	17.1	部局経費
人件費	52.4	40.5	7.1	物件費	人件費	50.6	36.1	13.3	物件費
教員人件費	35.7	64.3	0.0	職員人件費	教員人件費	31.7	68.3	0.0	職員人件費
管理的経費	2.4	29.8	67.9	教育研究経費	管理的経費	4.8	20.5	74.7	教育研究経費
教育経費	36.9	54.8	8.3	研究経費	教育経費	53.0	43.4	3.6	研究経費

(8) 貴大学では、効率化係数等への対応について、下記のいずれの方針をより重視していますか。

A	Aをより重視	ともに重視	Bをより重視	B
収入増により対応	1.2	54.8	44.0	経費節減により対応

(9) 貴大学では、中期目標・計画の達成と関連づけた予算編成ができていますか。

できている と思う	ある程度できている と思う	どちらとも 言えない	あまりできていない と思わない	できている と思わない
11.9	76.2	9.5	2.4	0.0

問10 本部による経費の管理

- (1) 貴大学では、下記の経費について本部で全学的な観点から管理を行っていますか。
a ~ e それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

行っている 行っていない

- a. 常勤教員の人件費.....97.6----- 2.4
 b. 常勤職員の人件費.....98.8----- 1.2
 c. 非常勤教員の人件費.....81.7----- 18.3
 d. 非常勤職員の人件費.....73.2----- 26.8
 e. 光熱水費64.6----- 35.4
 f. その他（具体的に： ）

- (2) 貴大学では、部局に資金を配分する際に、予算の積算内訳を示していますか。
 1. 示している 54.3 2. 一部示している 38.3 3. 示していない 7.4
- (3) 貴大学では、部局に配分した資金について、費目別の用途を指定していますか。
 1. 用途指定していない 17.5 2. 一部用途指定している 65.0 3. すべて用途指定している 17.5

問11 本部・部局間資金配分

- (1) 貴大学では、法人化後、学内資金配分の方法を変更しましたか。
 1. 変更していない 12.3 2. 一部変更した 54.3 3. 大幅に変更した 33.3
- (2) 貴大学では、今後資金配分方法を変更する予定はありますか。
 1. 変更する予定はない 40.0 2. 変更を予定している 60.0
- (3) 貴大学では、本部経費（重点的・競争的配分経費など、全学的に必要な経費として本部で管理している経費を含む）と部局経費（部局ごとに必要とし、部局で管理している経費）の配分（額の決定）にあたって、下記のいずれにより近い考え方をとっていますか。

A	Aを より重視	どちらとも 言えない	Bを より重視	B
本部の必要経費 を優先的に確保	33.8	-----53.8	-----12.5	部局の必要経費 を優先的に確保

- (4) 法人化前はどのような考えをとっていましたか。
- | | | | | |
|--------------------|------------|---------------|------------|--------------------|
| A | Aを
より重視 | どちらとも
言えない | Bを
より重視 | B |
| 本部の必要経費
を優先的に確保 | 20.0 | -----65.0 | -----15.0 | 部局の必要経費
を優先的に確保 |

- (5) 貴大学では、部局において当初配分予算に執行残が生じた場合、下記のいずれに近い取り扱いをしていますか。
 1. 残額の全額を翌年度の部局経費に上乗せ配分する 39.0
 2. 残額の一部を翌年度の部局経費に上乗せ配分する 27.3
 3. 残額は本部経費とし、部局経費に上乗せ配分しない 33.8
- (6) 貴大学では、部局への教育・研究に関わる資金配分に際して、法人化後も旧来の教官当・学生当の積算単価（基盤校費導入以前のもの）を利用していますか。
 1. 利用している 21.0 2. 修正して利用している 30.9 3. 利用していない 48.1
- (7) 貴大学では、各部局に配分する経費の額と、各部局の自己収入（授業料や受験料など）の額を関連づけていますか。
 1. 関連づけている 25.6 2. 今後関連づける予定 28.0 3. 関連づける予定はない 46.3
- (8) 貴大学では、各部局に配分する経費の額と、各部局が獲得した外部資金（科学研究費補助金や受託・共同研究など）の額を関連づけていますか。
 1. 関連づけている 23.2 2. 今後関連づける予定 18.3 3. 関連づける予定はない 58.5

問12 予算の配分額 ~

(1) 貴大学では、法人化前と比較して、下記の各経費の予算額は概ねどのように変化しましたか。a~lそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	大きく 増加	やや 増加	どちらとも いえない	やや 減少	大きく 減少
a. 全学共通経費	13.1	33.3	17.9	29.8	6.0
b. 学長等による裁量的経費.....	20.5	30.1	31.3	14.5	3.6
c. 全学的な重点・競争的配分経費.....	28.9	42.2	25.3	3.6	0.0
d. 全学的な施設整備費.....	4.8	21.4	34.5	29.8	9.5
e. 全学的な施設の維持・保全費.....	3.6	17.9	45.2	29.8	3.6
f. 部局共通経費	0.0	13.9	54.2	25.0	6.9
g. 部局長等による裁量的経費.....	7.0	31.0	49.3	9.9	2.8
h. 部局における重点・競争的配分経費.....	1.4	22.5	63.4	11.3	1.4
i. 部局における施設整備費.....	0.0	0.0	56.3	32.4	11.3
j. 部局における施設の維持・保全費.....	0.0	5.6	62.0	23.9	8.5
k. 各教員の基盤的な教育費.....	0.0	3.6	46.4	46.4	3.6
l. 各教員の基盤的な研究費.....	0.0	0.0	23.8	59.5	16.7

(2) 本年度の下記の各経費の予算額について、どのようにお考えですか。a~lそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

(3) 上記a~lのうち、配分額が最も不十分だったと思われる経費を1つ選び、下の欄内に記号を記入してください。

	十分	まあ 十分	どちらとも いえない	やや 不十分	不十分	最も 不十分
a. 全学共通経費	2.4	26.2	34.5	29.8	7.1	1.2
b. 学長等による裁量的経費.....	1.2	21.4	25.0	40.5	11.9	9.6
c. 全学的な重点・競争的配分経費.....	0.0	21.4	26.2	44.0	8.3	7.2
d. 全学的な施設整備費.....	0.0	3.6	15.5	36.9	44.0	47.0
e. 全学的な施設の維持・保全費.....	0.0	8.3	19.0	39.3	33.3	14.5
f. 部局共通経費	0.0	4.1	57.5	32.9	5.5	1.2
g. 部局長等による裁量的経費.....	1.4	8.3	43.1	37.5	9.7	1.2
h. 部局における重点・競争的配分経費.....	1.4	4.2	52.8	34.7	6.9	1.2
i. 部局における施設整備費.....	0.0	0.0	35.2	39.4	25.4	2.4
j. 部局における施設の維持・保全費.....	0.0	0.0	39.4	42.3	18.3	0.0
k. 各教員の基盤的な教育費.....	0.0	9.5	26.2	53.6	10.7	0.0
l. 各教員の基盤的な研究費.....	1.2	8.3	20.2	53.6	16.7	14.5

問13 財務会計制度

(1) 貴大学では、新しい財務会計制度の導入によって事務量が全般的にどう変わったと思いますか。

増えた	やや増えた	変化なし	やや減った	減った
66.7	29.8	1.2	2.4	0.0

(2) 貴大学では、新しい財務会計制度が、全学的な意思決定に有効に活用されていると思いますか。

活用 されている	ある程度 活用されている	あまり活用 されていない	活用 されていない
1.2	61.9	33.3	3.6

(3) 貴大学では、新しい財務会計制度を、教職員がどの程度理解しているとお考えですか。

十分に 理解している	ある程度 理解している	あまり 理解していない	ほとんど理解 していない
0.0	28.6	64.3	7.1

3 資金の活用

問14 経費の節減

(1) 貴大学では、下記の経費について全学的な節減のための方策をお持ちですか。a～g それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	もっている	もっていない
a. 一般管理費全般.....	77.1	22.9
b. 人件費全般.....	85.5	14.5
c. 非常勤教員の人件費.....	74.7	25.3
d. 非常勤職員の人件費.....	48.2	51.8
e. 旅費.....	54.9	45.1
f. 光熱水費.....	92.8	7.2
g. 物品購入費.....	66.3	33.7
h. その他（具体的に：.....）		

(2) 経費の最大部分を占める人件費の管理は、国立大学にとって最重要の経営課題と思われます。貴大学では、その人件費の管理に関連して、長期的な予測や推計に基づく対応策を立てていますか。

1. すでに立てている 30.5 2. 現在検討している 67.1 3. 検討していない 2.4

1もしくは2と回答した大学にうかがいます。具体的にその内容をお答えください。

4 自由回答とプロフィール

問15 自由回答

その他法人化に関して感じておられることがありましたら、ご自由にお書きください。

問16 理事ご自身のプロフィール

最後に、理事ご自身のことについて、いくつかおうかがいいたします。

- a. 年齢（ ）歳
- b. 現職に就いたのは、平成（ ）年（ ）月から
- c. 最終出身大学（ ）大学（ ）学部
- d. 最終出身大学院（ ）大学院（ ）研究科
- e. これまでの部局長・役職経験（部局・役職名等）

次ページ以降の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

5 職員の方にお答えいただく質問

以下の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

問17 特別教育研究経費・新規組織整備の申請・採択件数

問2（特別教育研究経費・新規組織整備）に関連して、平成15年度（14年度作業分）ならびに17年度（16年度作業分）における特別教育研究費・新規組織整備（15年度は新規概算要求）の申請・採択件数をお答えください。

	申請件数		採択件数	
平成15年度 (平成14年度作業分)	新規概算要求 件		新規概算要求 件	
平成17年度 (平成16年度作業分)	特別教育 件	新規組織 件	特別教育 件	新規組織 件

問18 COE・GPの申請・採択件数

問3（COE・GPの獲得）に関連して、平成17年度採択決定分までのCOE・GPの申請件数（延べ件数）・採択件数をお答えください。

	申請件数（延べ件数）	採択件数
COE	件	件
GP	件	件

問19 科学研究費補助金の申請・採択件数

問4（科学研究費補助金）に関連して、下記の各年度の科研費申請件数・採択件数を、文部科学省（学術振興会分含む）・他省庁に分けてそれぞれお答えください。

	申請件数		採択件数	
平成15年度新規分 (14年中に申請)	文部科学省	件	文部科学省	件
	/		他省庁	件
平成17年度新規分 (16年中に申請)	文部科学省	件	文部科学省	件
	/		他省庁	件

問20 学生納付金

問6の(3)（授業料の設定）に関連してa（学部）、b（大学院）それぞれについて、「2. 設定する予定」「3. 設定している」「4. 設定したが変更を予定」と回答した大学にうかがいます。その設定の目的、実施（予定）年度、授業料の額をお答えください。なお、標準授業料を上回る（もしくは下回る）授業料を設定する場合は、その部分の使途（もしくは代替財源）もあわせてお答えください。

	目的	実施（予定）年度	授業料の額	使途／代替財源
a.学部 について		平成 年度から		
b.大学院 について		平成 年度から		

問21 予算編成

- (1) 問9(予算編成)に関連して、貴大学では、予算をどのようなプロセスで決定していますか。具体的にお答えください。

(例) 4月上旬:本省より交付金交付→4月中旬:運営戦略会議により基本方針作成→4月下旬:各学部等から会計課へ所要額の提出→5月上旬:会計課が前年度実績等に基づき配分案作成→5月中旬:役員会により検討→5月下旬:経営協議会で審議→6月上旬:学長決定→6月中旬:教育研究評議会に紹介

- (2) 問9(予算編成)に関連して、貴大学では、どのような予算配分の単位(セグメント)を設定していますか。具体的にお答えください。

問22 本部・部局間資金配分

- (1) 問11(本部・部局間資金配分)に関連して、学内での資金配分方法が明確になる予算配分方針等の資料を、本調査票の返送の際に添付してください(できれば事務局経費や各部局経費、各部局の収入額も明らかになるものをお願いします)。
- (2) 問11の(1)(法人化後の学内資金配分の方法)に関連して、「**2. 一部変更した**」「**3. 大幅に変更した**」と回答した大学は、平成14年度時点の学内での資金配分方法が明確になる予算配分方針等の資料を、本調査票の返送の際に添付してください(できれば事務局経費や各部局経費、各部局の収入額も明らかになるものをお願いします)。
- (3) 問11の(7)(部局配分経費と自己収入との関連づけ)に関連して、「**1. 関連づけている**」もしくは「**2. 今後関連づける予定**」と回答した大学にうかがいます。その具体的内容をお答えください。

- (4) 問11の(8)(部局配分経費と獲得した外部資金との関連づけ)に関連して、「**1. 関連づけている**」もしくは「**2. 今後関連づける予定**」と回答した大学にうかがいます。その具体的内容をお答えください。

問23 予算の配分額

- (1) 問12(予算の配分額)に関連して、貴大学では、各部局への配分額の算定にあたってどのような費目を設定していますか。主要な費目名を**最大10個まで**具体的にお答えください(部局管理経費、教育経費、研究経費、教育研究支援経費、予備費など)。

(2) 問 12 (予算の配分額) に関連して、貴大学の平成 17 年度における下記の経費は、法人化前と比較してどう変化しましたか。a～e それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

a.学長裁量経費 (学長個人の裁量により配分可能な経費)	1. 増加した 2. 変化なし 3. 減少した 4. 該当なし
b.部局長裁量経費 (部局長個人の裁量により配分可能な経費)	1. 増加した 2. 変化なし 3. 減少した 4. 該当なし
c.戦略的配分経費 (役員会等の合議を経て戦略的に配分する経費)	1. 増加した 2. 変化なし 3. 減少した 4. 該当なし
d.学内公募経費 (学内公募おこなったうえで、配分する経費)	1. 増加した 2. 変化なし 3. 減少した 4. 該当なし
e.傾斜配分経費 (一定の算定ルールの下で傾斜配分する経費)	1. 増加した 2. 変化なし 3. 減少した 4. 該当なし

問24 経費の節減

問 14 の(1) (経費節減のための全学的方策) で、「1.もっている」と回答した大学にうかがいます。それぞれの項目ごとに具体的内容をお答えください。

a.一般管理費全般 について	
b.人件費全般 について	
c.非常勤教員 の人件費 について	
d.非常勤職員 の人件費 について	
e.旅費 について	
f.光熱水費 について	
g.物品購入費 について	
h.その他 について	

問25 間接経費とオーバーヘッド

間接経費・オーバーヘッドの対象経費、徴収率、徴収額、配分比率をお答えください。

		対象経費	徴収率	徴収額	配分比率
間接経費	平成16年度	科学研究費補助金 (文部科学省/日本学術振興会)	30 %	円	本部 % 部局 % 獲得者 %
		文部科学省が所管する 他の競争的資金	%	円	本部 % 部局 % 獲得者 %
		他省庁が所管する 競争的資金	%	円	本部 % 部局 % 獲得者 %
		民間等との共同研究 ・受託研究	%	円	本部 % 部局 % 獲得者 %
オーバーヘッド	平成16年度	寄附金	%	円	本部 % 部局 %
		科学研究費補助金(直接経費 相当分からのオーバーヘッド)	%	円	本部 % 部局 %
		その他 ()	%	円	本部 % 部局 %

問26 運営費交付金

貴大学における下記の経費の額についてお答えください。

	平成16年度	平成17年度		平成16年度	平成17年度
標準 運営費交付金	千円	千円	標準運営費交付金 対象事業収入	千円	千円
特定 運営費交付金	千円	千円	特定運営費交付金 対象事業収入	千円	千円
附属病院 運営費交付金	千円	千円	病院運営費交付金 対象事業収入	千円	千円
効率化額	千円	千円	経営改善係数額	千円	千円

質問は以上です。回答にご協力いただき、ありがとうございました。